

東京都地方独立行政法人評価委員会
平成26年度第5回試験研究分科会 議事概要

- 1 日 時：平成27年3月24日(火) 13時30分から15時30分まで
- 2 場 所：都庁第一本庁舎33階南側 特別会議室S2
- 3 出席者：三上分科会長、青山委員、北村委員、藤竿委員、森委員（五十音順）
- 4 議 題：
 - (1) 審議事項
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター役員報酬基準の改定について
 - (2) 報告事項
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター平成27年度年度計画（案）について
 - (3) その他
- 5 議事概要：
 - (1) 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター役員報酬基準の改定について
事務局から役員報酬基準の改定について説明（資料1）
【質疑応答・意見交換】※ゴシックが委員の意見、⇒は事務局の説明
○法人の事業実績評価に基づく役員報酬の加算・減算については、役員給与規程に含まれないのか。
⇒法人の事業実績評価に基づく役員報酬の加算・減算については、役員給与規程には含まず、別の要綱で規定している。

○改正案は地方独立行政法人法の規程及び東京都人事委員会の勧告等を考慮し適切に策定されていると思う。
 - (2) 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター平成27年度年度計画（案）について
産業技術研究センターから平成27年度年度計画（案）について説明（資料2、資料3）

【質疑応答・意見交換】※ゴシックが委員の意見、⇒は産技研の説明
○国内で金属粉末積層造形についてのデータベースはほとんどない。また造形物を非破壊的に調べることや、仕上加工サービスへのニーズは今後多いに高まると思うが、いかがか。

⇒金属3Dプリンターは国内の公施設にもすでに導入されているが、削ったり研磨したりする造形後の加工を他の施設等ではやっていない。産技研では、後加工までやることで、製造ノウハウとしてデータベースをつくりたいと思っている。また、造形物の品質についてCTスキャンなどで非破壊的に調べることも造形とセットにして、企業へ利用を進めたいと考えている。

○いろいろな最新のレベルの高い機械でどういうものが作れるのかを知ってもらい、より産技研を活用してもらうために、産技研を知らない人へのPRはどうか。

⇒従来は、産技研を知らない企業に産技研を認知してもらう認知度向上活動をやってきた。今後はこれまでに産技研を使ったことのある企業に対して、最新の設備、最新の情報、これを知らしめる認知度向上の活動も強化していきたいと考えている。

○ロボット産業活性化事業は、今後どのように進めていくのか。

⇒テレコムセンターへの開発拠点の整備及び、中小企業との共同研究を軸に進めていきたいと考えている。

○中小企業のロボット開発力強化という意味で中小企業から出向者を受け入れ、人を育てるといった仕組みは検討しているか。

⇒中小企業からは、人材を育成してほしいと言われている。実態としてロボット技術者はそれほど多くないので、産技研へ出向し、帰ったときは、もうその人は事業と一緒に帰ってくるようにしてほしいとの要望があり、そういうプログラムについても検討している。

○次期中期計画の評価指標は、より具体的に中小企業への貢献度が見える工夫をしていただきたいと思うがいかがか。

⇒第3期の評価指標を現在検討しているので、今後改めてご報告させていただきたい。

(3) その他

事務局から今後の日程等について説明（資料4）

以上